

安倍川総合水系環境整備事業

説明資料

平成26年10月30日

国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所

目 次

1. 事業の概要	
(1) 流域の概要	1
(2) 事業の目的	3
2. 計画内容	
(1) 完了箇所	4
(2) 整備予定箇所	6
3. 評価の視点	
(1) 事業の必要性に関する視点	8
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	8
2) 事業の進捗状況	9
4. 費用対効果分析	10
5. 事業の進捗の見込み視点	12
6. コスト縮減や代替案の可能性の視点	12
7. 完了箇所評価の視点	
(1) 今後の事後評価の必要性	12
(2) 改善措置の必要性	12
(3) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	12
8. 県への意見聴取結果	13
9. 対応方針(原案)	
(1) 完了箇所評価	13
(2) 再評価	13
(3) 水系全体	13

(1) 流域の概要

- 位置図**

長野県 山梨県
愛知県 静岡県
安倍川流域

大谷嶺 笹山 十枚山 勤行峰 三ツ峰 七ツ峰 天狗石山 天狗岳 見月山 中河内川 大瀬山 突先山 足久保川 牛妻 文珠岳 真富士山 安倍川 薬科川 手越 丸子川 静岡市 駿府城 県庁 登呂遺跡 静岡海岸 清水海岸 新東名高速道路 旧東海道幹線 国道1号 東名高速道路

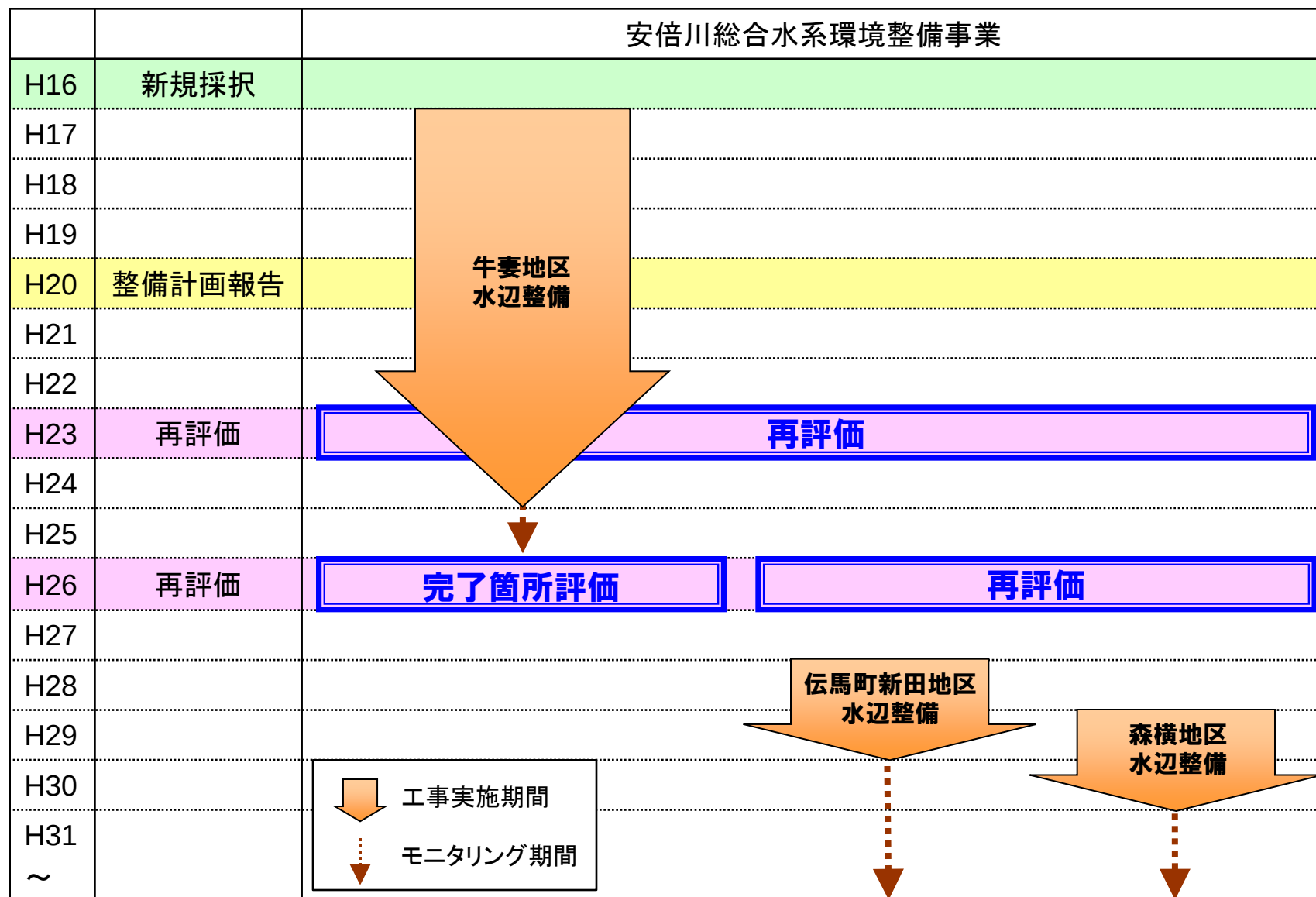
平成25年7月
高水敷の利用状況
(牛妻地区)

■	基準地点
●	主要地点
↑	直轄管理区間
---	県境
—	流域界

○水源	: 静岡県静岡市と山梨県 みなみこまぐん はやかわちょう 南巨摩郡早川町の県境 おおやれい に位置する大谷嶺
○流域面積	: 567km ²
○幹川流路延長	: 51km
○直轄管理区間	: 31.59km (安倍川及び藁科川)
○流域内市町村	: 静岡市(約72万人)
○流域内人口	: 約19万人
○年平均降水量	: 平野部約2,200mm 山間部約2,800mm



(今回評価について)



(2) 事業の目的

完了箇所評価

再評価

水辺整備事業：関係機関との連携による河川環境体験の場のさらなる利活用を推進するための水辺整備を図る。

③森横地区（平成29年度工事着手予定）



①牛妻地区（平成24年度工事完了）



②伝馬町新田地区（平成28年度工事着手予定）



実施箇所	内容	事業期間
①牛妻地区	緩傾斜堤防整備 坂路整備 階段整備 高水敷整備 護岸整備	H17-26
②伝馬町新田地区	階段整備 高水敷整備	H28-34
③森横地区	階段整備 高水敷整備	H29-35

2. 計画内容

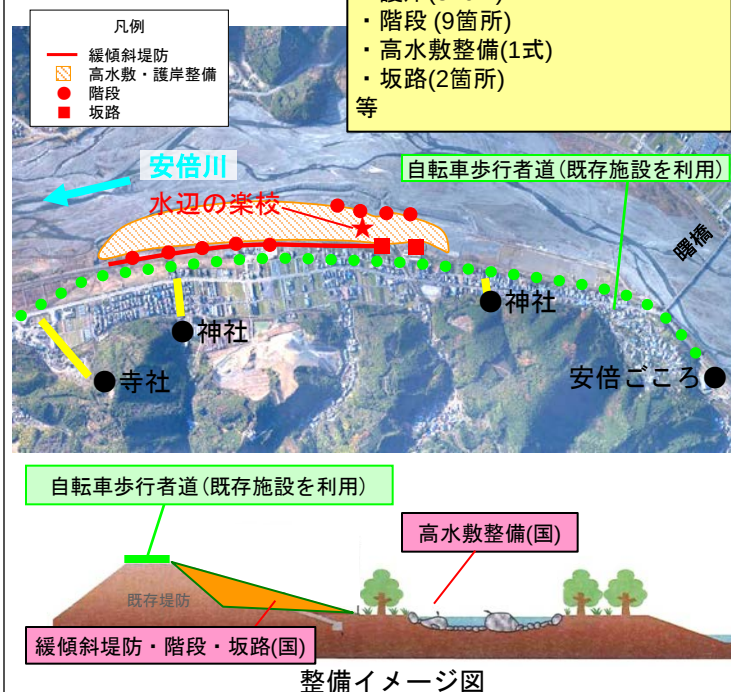
(1) 完了箇所 【牛妻地区水辺整備】（平成24年度工事完了）

完了箇所評価

整備の必要性

- ＜背景＞・当該地区は、静岡市都市計画マスタープラン（平成18年策定）に基づいた、自然豊かな安倍川と当該地区の有する寺社や史跡等、歴史性のある施設を活かしたまちづくりとあわせて地元団体による環境教育活動が継続されており、水辺の楽校による整備のニーズが高い。
- ＜課題＞・当該地区は、高水敷には樹木が生い茂り、堤防が急傾斜である等、安全な利用が妨げられていた。また、これに伴い、河川巡視を実施するにも困難な状況であった。
- ＜対策＞・河川管理の効率化、利用の安全性を確保するため、緩傾斜堤防、階段、高水敷等の整備を行い、平成24年度に工事を完了した。（現在供用中）

整備内容



●緩傾斜堤防、高水敷整備

整備前



整備後



事業の投資効果

- ・整備済区間においては、地域の方々による環境教育活動が取り組まれ、活動がマスコミにも取り上げられる等、利活用されており、県内外から毎年2～3万人もの人が訪れている。
- ・市の計画と一体となった整備が実施され、河川管理の効率化が図られるとともに、地域の賑わいと憩いの場として利用されている。

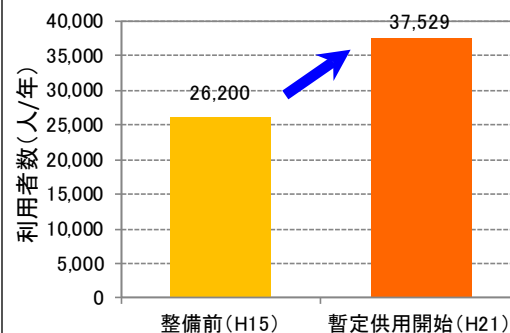
利用状況



平成25年7月

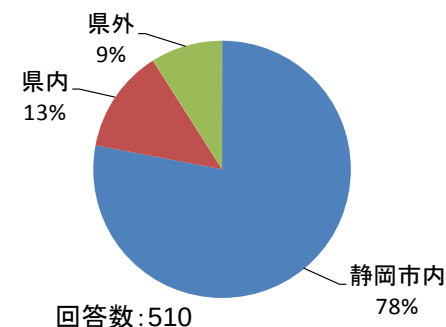
子供たちの環境教育の場としての活用状況

整備による効果



牛妻地区周辺の利用状況の比較

(出典: 河川水辺の国勢調査 河川空間利用実態調査より、年間利用者数推計値の比較)



水辺の楽校の来訪者の構成

(出典: 管理団体によるH23年アンケート結果より)

歩行者道(静岡市)開通式の様子



平成22年11月

背後地から堤防への散策路(市)の開通により日々の利用や川沿いに点在する寺社等巡りと合わせて利用されている。



ふくじゆいん
福寿院

地域の取組み



平成21年7月



地元住民による環境教育活動や維持活動状況

整備の必要性

- ＜背景＞・当該地区の上下流につながる高水敷は、静岡市のスポーツ公園として占用され活発に利用されている。
 ・静岡市都市計画マスタープラン（平成18年）において、高水敷を流れる秋山川等の水辺空間を活かしたまちづくりが計画されており、秋山川等の周辺環境を活用した一体的な整備へのニーズが高まっている。
- ＜課題＞・当該地区では、流入する秋山川等の周辺に樹木が繁茂し、堤防には階段が整備されていない等、安全な利用が妨げられている。また、これに伴い、河川巡視を実施するにも困難な状況である。
- ＜対策＞・河川管理の効率化、安全な利活用を確保するため、階段、高水敷等の整備を行う。

整備内容

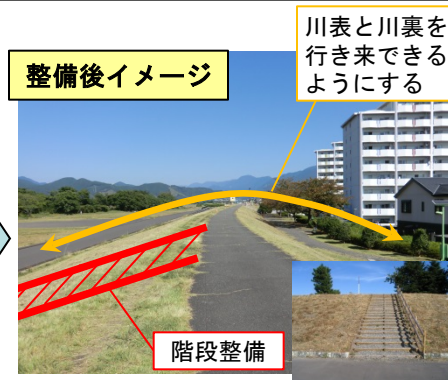


●階段

整備前



整備後イメージ



●高水敷整備

整備前



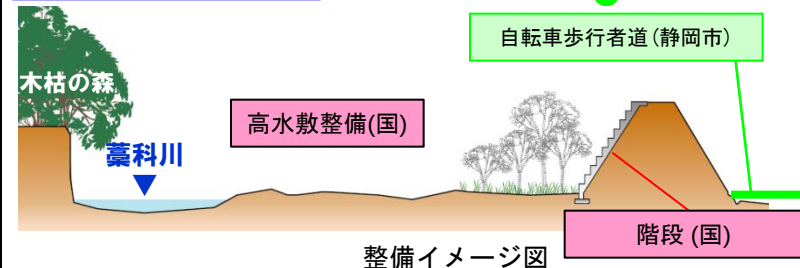
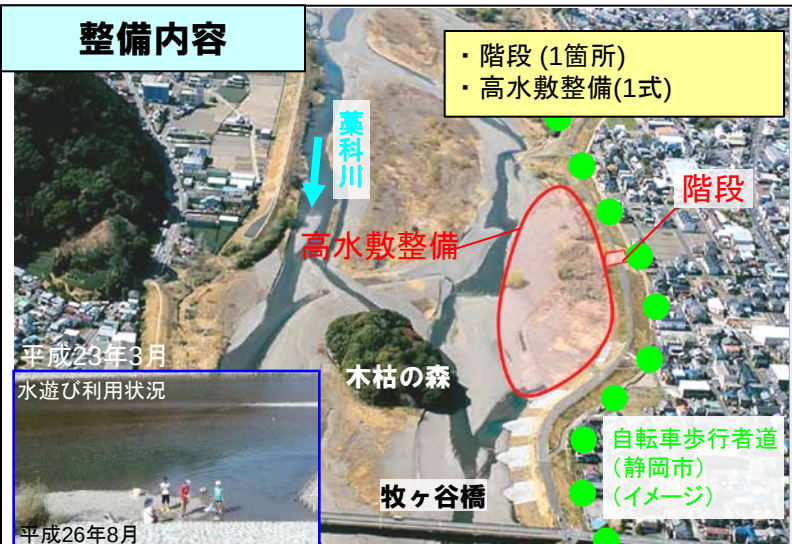
整備後イメージ



整備の必要性

- ＜背景＞・当該地区は、静岡県指定名勝”木枯の森”が河道内にあり、その河川景観が周辺住民から親しまれ、水遊びや散策に利用されている。
- ・静岡市都市計画マスタープラン（平成18年）では、森横地区は「地域の潤い拠点」と位置づけられており、木枯の森等との一体的整備へのニーズが高まっている。
- ＜課題＞・当該地区には、堤防に階段が整備されておらず、高水敷には植生が繁茂する等、安全な利用が妨げられている。また、これに伴い、河川巡視を実施するにも困難な状況である。
- ＜対策＞・河川管理の効率化、利用の安全性を確保するため、階段、高水敷等の整備を行う。

整備内容

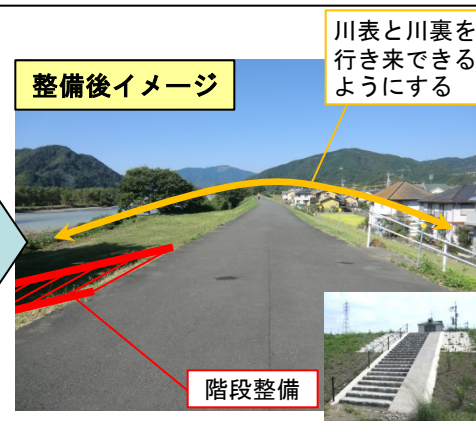


●階段

整備前



整備後イメージ



●高水敷整備

整備前



整備後イメージ



3. 評価の視点

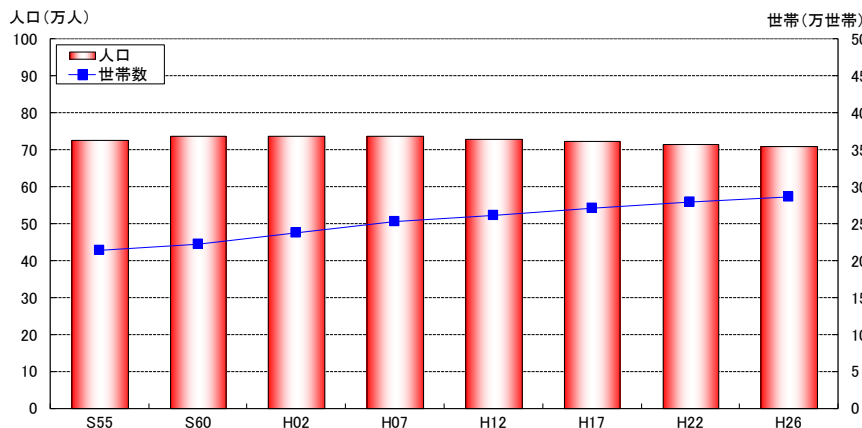
(1) 事業の必要性に関する視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

完了箇所評価

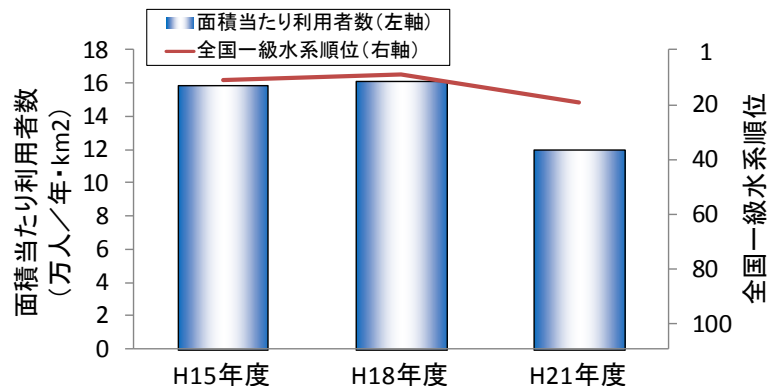
再評価

- ・河川整備計画策定以降、流域の人口に大きな変化は見られないが、世帯数は増加傾向に推移。
- ・流域は、静岡県県の庁所在地である静岡市街地が発達し、東名高速道路やJR東海道新幹線等、日本経済の基盤をなす重要交通網が集中しており、平成24年度には、新東名高速道路が供用開始され、一層の経済活動等が見込まれている。
- ・安倍川は、市街地を流れ、河川敷が散策やスポーツの場として広く利用されている。
- ・河川区域面積当たりの利用者数は、全国一級水系109水系中の10位前後と高い。



静岡市の人口・世帯数の変遷

出典: S55～H22: 国勢調査、H26: 静岡市統計

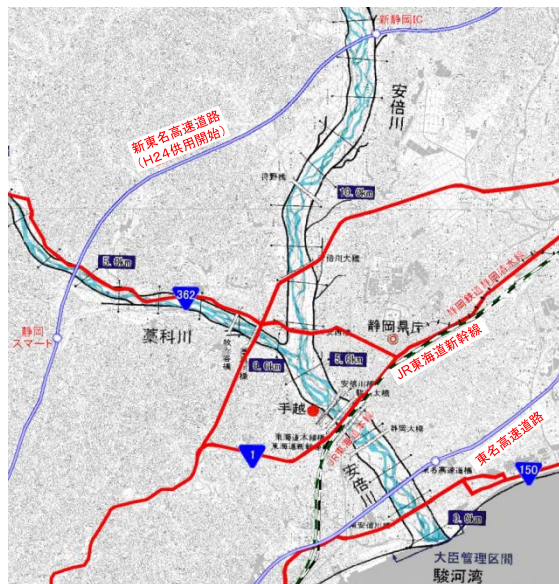


安倍川における河川空間利用者数

※一級水系順位は、109水系中の順位

出典: 調査年度別に公表される「河川水辺の国勢調査結果〔河川版〕

(河川空間利用実態調査編)」



親水公園



スポーツ

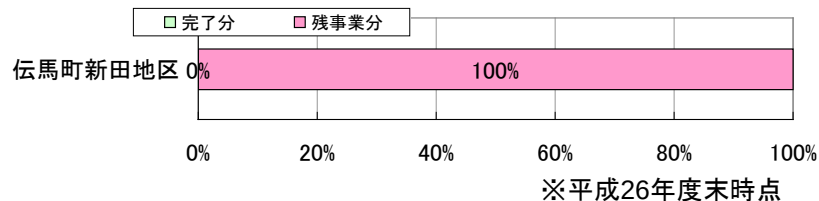


水遊び

○伝馬町新田地区水辺整備

平成28年度に着手する予定です。

事業の進捗率



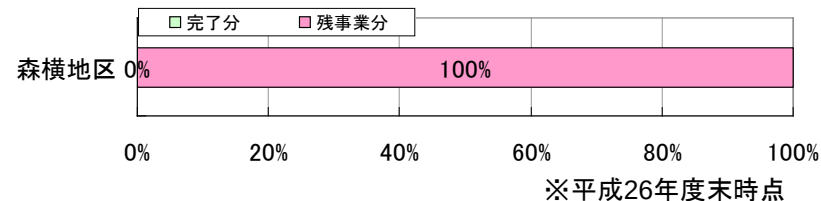
事業の実施状況図



○森横地区水辺整備

平成29年度に着手する予定です。

事業の進捗率



事業の実施状況図



4. 費用対効果分析

完了箇所評価

再評価

各箇所別に見ると、総費用（C）は2.6～10.1億円、総便益（B）は5.7～23.7億円、費用対効果（B／C）は1.3～6.6となります。

事項		安倍川総合水系環境整備事業			備考
地区名		牛妻地区水辺整備事業 完了箇所評価	伝馬町新田地区水辺整備事業 再評価	森横地区水辺整備事業 再評価	
計算条件	評価時点	H26年度			
	整備期間	H17～24年度	H28～29年度	H29～30年度	
	評価対象期間	整備期間（H17～30年度）+50年間			
	受益範囲	個別事業箇所の便益集計範囲の包括エリア（静岡市駿河区・葵区） 世帯数：113,209世帯（重複部分除く）			
		事業箇所周辺7km圏（静岡市葵区） 世帯数：65,347世帯	事業箇所周辺3km圏（静岡市葵区） 世帯数：66,258世帯	事業箇所周辺3km圏（静岡市駿河区・葵区） 世帯数：26,822世帯	
	年便益算定手法	CVM 回答数：645票 有効回答数：276票	CVM 回答数：435票 有効回答数：173票	CVM 回答数：194票 有効回答数：78票	
	支払意思額（WTP）	130円／世帯／月 （1,560円／世帯／年）	111円／世帯／月 （1,332円／世帯／年）	96円／世帯／月 （1,152円／世帯／年）	
B/C算出	事業費	7.3億円	2.8億円	5.0億円	
	維持管理費	1.018億円	0.062億円	0.0192億円	※1
	総費用（C）	10.1億円	2.6億円	4.3億円	※2
	年便益	1.0億円／年	0.9億円／年	0.3億円／年	※3
	残存価値	3.0百万円	2.0百万円	1.0百万円	※2
	総便益（B）	23.7億円	16.9億円	5.7億円	※2
	箇所別B／C	2.3	6.6	1.3	※4
全体B／C		2.1（2.8）			※4,5

※1:必要額の積上げ ※2:割引率4%で現在価値化 ※3:WTP×世帯数×12ヶ月 ※4:総便益（便益+残存価値）／総費用（事業費+維持管理費） ※5:（ ）書きは前回評価時

事項			安倍川総合水系環境整備事業			
地区名			水辺整備事業			備考
			牛妻地区水辺整備事業 完了箇所評価	伝馬町新田地区水辺整備事業 再評価	森横地区水辺整備事業 再評価	
箇所別B/C	全体事業(B/C)	事業費 (+10%～-10%)	—	6.0 ～ 7.4	1.2 ～ 1.5	
		受益世帯数 (-10%～+10%)	—	6.0 ～ 7.3	1.2 ～ 1.4	
		工期 (-10%～+10%)	—	—	—	※6
全体B/C	全体事業(B/C)	事業費 (+10%～-10%)	1.9 ～ 2.3			
		受益世帯数 (-10%～+10%)	1.9 ～ 2.3			
		工期 (-10%～+10%)	—			※6
	残事業(B/C)	事業費 (+10%～-10%)	4.4 ～ 5.3			
		受益世帯数 (-10%～+10%)	4.3 ～ 5.3			
		工期 (-10%～+10%)	—			※6

※6: 残工期が4年以内で±10%の工期に変動がないため感度分析は実施しない。

5. 事業の進捗の見込み視点

再評価

- ・行政（静岡市）・住民・NPO等が協働して河川空間の利活用や環境保全への取組を進めており、事業実施にあたっての支障はない。

6. コスト縮減や代替案の可能性の視点

再評価

- ・事業実施の各段階において、工法の工夫等により、コスト縮減に努めている。

7. 完了箇所評価の視点

完了箇所評価

（１）今後の事後評価の必要性

- ・事業効果の発現状況から、現時点では再度の事後評価の必要性はない。

（２）改善措置の必要性

完了箇所評価

- ・利用者が多く、事故も無いため、改善措置の必要性はない。
- ・今後も環境調査結果や沿川住民等の意見を把握し、必要に応じて関係自治体と協力して対応する。

（３）同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

完了箇所評価

- ・当該事業の事業評価手法は妥当と考え、現時点での見直しの必要性はないと考える。

8. 県への意見聴取結果

完了箇所評価

再評価

(静岡県)

安倍川は、静岡県中部に位置し、その源を静岡県と山梨県の県境に位置する大谷嶺に発し、山間部を流れて支川を合わせながら南流し、静岡平野を形成する扇状地に出てから藁科川を合わせて駿河湾に注いでいます。

本事業は、川での水遊びや散策、環境教育などの地域活動と一体となった水辺の整備・保全を行うことにより、河川と地域の密接な関係を再構築していく、大変重要な事業です。

今後も、コスト縮減の徹底とともに、効果が十分に発現されるよう事業の推進をお願いします。

また、各年度の実施に際しては、引き続き、県と十分な調整をお願いします。

9. 対応方針（原案）

完了箇所評価

再評価

(1)完了箇所評価(牛妻地区)

- ・ 目的とした事業効果を発現しており、改めてフォローアップを実施する必要はない。

(2)再評価(伝馬町新田地区、森横地区)

- ・ 引き続き、安倍川総合水系環境整備事業（再評価分）を継続します。

(3)水系全体

- ・ 以上のことから、引き続き、安倍川総合水系環境整備事業を継続します。